

北海道議会議員 畠山みのり

道政だより



発行：畠山みのり道政事務所
札幌市南区澄川4条1丁目港ビル1F
TEL：011-813-7733
FAX：011-813-7778
facebook
<https://www.facebook.com/hatakeyama.minori>

この通信の配布については、郵送・全戸配布・街頭配布等で行っています。

2016 平成28 年始動



また、1月11日は南区成人式の会場前で、新成人の皆様やご家族に向けてお祝いを述べつつ、選挙権などについて街頭演説を行いました。その後、式典では華やかに着飾った新成人の皆さんに、大きな夢を抱いてこれから人生を生き抜いて頂きたいと、見守りの気持ちを含めてあいさつをいたしました。

2016(平成28)年の活動スタートは北海道庁西門前で朝8時からの街頭演説でした。厳しい寒さの中、出勤途中の皆様には道政報告や今後の課題などを訴えさせていただきました。



北海道・東北六県 議会議員研究交流大会

2月4日～5日にかけて岩手県盛岡市で議員が集い、各県の取り組み報告や意見交換が行われました。「地方創生と新しい地方経営」と題して、法政大学名誉教授 岡崎昌之先生の講演のあと、3つの分科会に分かれ、私は第一分科会で「都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略について」というテーマのもと、全国でも先駆的である北海道の移住・定住施策について発表をしました。自然に恵まれ、移住先としても人気の高い北海道の魅力を最大限に活かし、住んでみたい、住み続けたいまちづくりに、道は取り組みを強化していきます。

北九州市の子育てふれあい交流プラザではなんと北海道の木のおもちやがふんだんに使われていて、ちょっと誇らしく思いました。また、増加傾向にある高齢者への身体的、肉体的虐待問題が大きな社会問題として浮上しておりますが、原因のひとつに職員の労働条件の厳しさも挙げられます。今回訪問した福岡市の先進的モデル都市「アイランドシティ」にある特別養護老人ホームでは、職員はほぼ正社員でした。労働に対して適正に評価され、処遇が改善されることは、ストレスを少しでもやわらげ、労働への意欲や楽しく生活することにもつながります。



所属委員会道外調査

少子・高齢社会対策特別委員会では沖縄県・福岡県の高齢者施設や子育て支援に関する施設などを調査してきました。沖縄では高齢者施設と市営住宅が同敷地にあり地域住民とのふれあいごく自然にできる環境である事が特徴的でした。また、どの施設も総じて開放的でした。

畠山みのり

活動記録

1月

- 4日(月) 新春街頭演説会
- 5日(火) 常任委員会
- 6日(水) 特別委員会
- 7日(木) 道議会民主党道民連合政策審議会・連合北海道政策同協議会
- 11日(月) 南区成人式
- 15日(金) 真駒内駐屯地成人祝賀行事
- 27日(土) 女性活躍推進法に関する学習会
- 28日(日) 連合北海道政策委員会学習会



2月

- 2日(火) 常任委員会
- 市民公開講座アイヌ民族の歴史と文化
- 3日(水) 特別委員会
- 4日(木) 北海道・東北六県議会議員研究交流大会
- 6日(土) シンポジウム「TPP『合意』を検証する」
- 8日(月) 少子・高齢社会対策特別委員会道外調査(11日まで)
- 15日(月) 環境生活委員会道外調査(18日まで)
- 25日(木) 常任委員会
- 26日(金) 特別委員会
- 27日(土) 北海道議会第1回定例会開会(会期3月24日まで)
- 共生社会創出シンポジウム in 札幌

3月

- 5日(土) 3・0国際女性デー北海道集会
- 8日(火) 北海道議会国際交流の集い
- 11日(金) 予算特別委員会(22日まで)
- 30日(水) 道議公会派視察
- 幌延深地層研究センター(他(31日まで))

幌延深地層 研究センター視察



深度 350m の調査坑道内で説明を受ける。

第1回定例会が終わり、3月30日から道議会会派の調査で、幌延深地層研究センターを視察しました。幌延深地層研究センターでは、地下深く坑道を掘り進み、地上からの調査で行った地下の様子を確認し、調査手法や解析評価手法の妥当性を検討し、地下坑道や処分システムの設計・建設に関する技術などの開発を行っています。実際に地下350mの現場で、地質環境や使用済み核燃料を地中深く埋める工程の説明を受けました。この先、500mまで掘り進める計画とのことでした。

ガラス固化体について

原子力発電所の廃止に伴い、使用済み核燃料は、再利用できるものを取り出し、残った高レベル放射性廃液をガラスと混ぜ、高温で溶かし、ステンレスの容器で固めます。

ガラス固化体の貯蔵保管費
2,291円

ガラス固化体の発生本数
約24,800本(注2)2291円/本(注1)

高レベル放射性廃棄物の放射能の減衰

ガラス固化体は、バーバックと緩衝材で構成され、数万年に亘って隔離することができるとされています。

地域住民へは
・放射性廃棄物を持ち込みや使用はしないこと
・研究終了後は、地下施設を埋め戻すこと
・ここを放射性廃棄物の最終処分場とせず、中間貯蔵施設も設置しない
と約束しています。

少子・高齢社会対策特別委員会道外視察報告

活動報告

平成28年
2月8日～11日

沖縄県・福岡県の
高齢者施設や子育て支援
への取り組みについて
視察しました。



沖縄県社会福祉協議会。いきいき長寿センターなど様々な取り組みをしています。



沖縄の「あじゃ保育園」はとても開放的。



北九州市の「子育てふれあい交流プラザ」は、木のすべり台など木のぬくもりを感じながら遊べる広場です。



福岡市の将来をリードする、創造的な先進的モデル都市「アイランドシティ」にある緑に囲まれた、特別養護老人ホームを見学。

平成28年
2月15日～18日

環境生活委員会道外視察報告

福岡県・佐賀県・長崎県で「福岡水素エネルギー会議」や「福岡県飲酒運転撲滅条例」の取り組みを、

「小浜温泉バイナリー発電所」では地熱発電の視察、

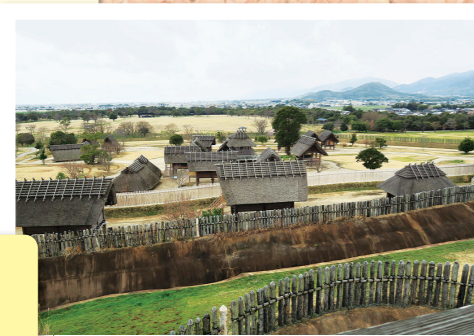
「吉野ヶ里歴史公園」では弥生時代の暮らしを学びました。



福岡県議会で福岡県が取り組む「飲酒運転撲滅条例」の説明を受ける。



「水素エネルギー国際研究センター」が考える、2030年の再生可能エネルギーを活用した社会のイメージ



「吉野ヶ里歴史公園」では、弥生時代の文化財保護や公園管理体制について学びました。



小浜温泉で温泉の熱を利用した発電の仕組みを視察。

所属委員会 道外調査



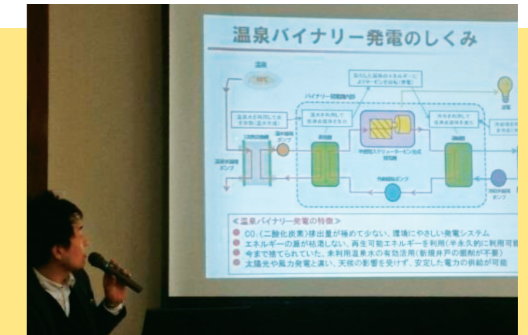
環境生活
員会では2
月15日福岡
県議会を訪問し、全国
の先駆けとなつた福岡水素エネルギー会議や「福岡県飲酒運転撲滅条例」にもとづく取



九州大学「水素エネルギー国際研究センター」で燃料電池自動車を見学。

り組み状況をうかがいました。県庁前の移動式を含み県内には3ヶ所の水素ステーションがあるとの事です。
さらに九州大学の水素エネルギー国際研究センターにて、燃料電池自動車(FCEV)や家庭用燃料電池エネファームについて実際に見て学びました。CO2を発生しない、地球にやさしい再生可能エネ

ルギーとして今後の活用が課題になっていきます。
また、長崎県雲仙市では小浜温泉バイナリー発電所へ行きました。地熱発電のひとつであるバイナリー方式は、比較的低い温度でも発電させることができるのとことです。発電所を運営する株式会社光陽電機の方の話によると、温泉を通す管に湯の華が付着し、管が細くなってしまうため度々それを取り除く作業が必要でしたが、様々な工夫により今はその作業も3か月に1度くらいに減っているそうです。地熱発電は風力や太陽のように天候の影響をほぼ受けないというメリットがあり、温暖化対策のひとつとして期待されています。ちなみに小浜温泉は塩化物泉なので、硫酸成分は少ないそうです。



温泉バイナリー発電のしくみ。

水より沸点が低い液体を加熱蒸発させタービンを回す方式。加熱源系統と媒体系統の2つ(binary)の熱サイクルを利用し、発電。

平成28年 第一回定例会 予算特別委員会で質問



2月26日から3月24日までを会期として第一回の道議会が開催されました。新年度一般会計で2兆8千億円規模の予算案が可決されました。私は、昨年の第4回定例会に引き続き予算特別委員会の委員となりました。3月14日に委員会が生まれ、その後3つの分科会それぞれ所管部との審議を行いました。私は第一分科会で保健福祉部へ知事の「障害者政策委員会」への就任についてや、4月から施行される「障害者差別解消法」の道としての取り組み、6年前に制定された「北海道障がい者条例」について質しました。

内閣府の障害者政策委員会は、知事が全国知事会代表として委員となつてから16回開催されていますが、日程が合わずただの一度も参画していません。知事に直接質すべく予算特別委員

会最終日の会派からの総括質問へ上げました。北海道は千歳県に次いで早い時期に障がい者条例を議員発議で制定し、障がい者福祉について高い意識を持つはずですが、知事は他の業務が優先だったのでどうか。このことは北海道新聞や朝日新聞にも掲載されました。
総合政策部に対しては、人口減少対策としての北海道への移住や定住促進の取り組みと、国勢調査によって人口増となっている市町村の要因分析やその活用について質しました。さらに年々利用者が増えていく体験移住「ちよつと暮らし」や、東京・大阪・名古屋で毎年行っている「北海道暮らしフェア」などによる効果、これまでの分析などを伺いました。
今回の定例会も、いろいろな面で勉強になりました。まだまだ見えない部分があるように思いますが、少しずつ消化して行きたいと思えます。

